



# 夢に生きたん

Takeokadai High School

1・2年生用

進路指導部 第8号

発行日 H30. 2. 26 (月)

## 学習実態調査を終えて



1月23日～1月29日の期間に学習実態調査を行いました。下記にその結果内容を示してあります。このデータをみなさんはどのように感じ、どのように考えますか？

### 1週間の宅習時間の合計

	1年		30期	29期
	31期	29期		
	今回	9月	1月	1月
国語	2:38	3:28	2:26	2:31
数学	4:28	5:14	4:49	5:55
英語	4:43	5:39	4:25	3:30
理科	0:09	0:10	0:14	0:14
地公	0:05	0:10	0:11	0:15
商業	0:11	1:37	2:20	3:12
工業	0:18	0:08	0:08	0:30
合計	12:23	13:12	12:36	13:05

	2年		29期	28期
	30期	29期		
	今回	9月	1月	1月
国語	2:06	2:18	1:59	2:32
数学	3:55	3:53	4:53	3:19
英語	3:58	3:58	3:46	4:35
理科	1:12	0:57	1:35	1:23
地公	0:19	0:25	0:25	0:23
商業	7:53	2:29	2:32	5:06
工業	0:45	0:21	0:38	0:11
合計	12:36	12:01	13:12	13:01

平日 1:30  
土曜日 2:26  
日曜日 3:05

平日 1:34  
土曜日 2:21  
日曜日 2:48

### 結果と分析

1年生は、合計で前回から49分も宅習時間が落ち込んでいます。過年度比較では過去3年間で最も少なくなっており、平日2時間すら達成できていません。予習・復習については、予習を78.8%の人がしているのに対して、**復習をしない(方が多い)**と答えた人が**58.9%**なのも考えものです。

2年生は、合計で前回から35分宅習時間が伸びました。過年度と比較すると平日が減った分を土・日の宅習時間でリカバーできていないのが見えてきます。予習・復習については、予習を69.8%の人がしているのに対して、**復習をしない(方が多い)**と答えた人が**56.1%**と、復習の取り組みが甘くなっているようです。

平日の宅習が伸びない原因のひとつとして、携帯電話&スマホがあげられます。一日の使用時間が30～60分の方は、1年生で50.3%、2年生で43.1%ですが、**60分以上の方も1年生で28.1%、2年生で16.5%**います。携帯電話&スマホに関して、皆さんに求められるのは極力、使用を短く、節度ある使い方をする事です。



\* 復習の定着と必要性は裏面 センター試験に向けての提言を参照

## 自宅学習のペンタ・ベース【5大基礎】できていますか？

3年生を卒業式で送り出すと、次の週から高校入試のために自宅学習期間（3月5日午後～13日）に入ります。各教科から課題が出されますが、8日間もあるので、計画は立ててみたものの予定通りに進まなかったとか、計画すら立てずに徒（いた）ずらに時間を過ごしてしまったという人は・・・「分かってはいたけど、（考えが甘くて）やれなかった・・・」そんなことになりませんか？

その原因は何でしょう？それは「気（＝意識）」です。「本気」で「やる気」を出さないと、自らの行為作動とならないのは自明の理です。ここでは生活上のアドバイスも絡めて、来る自宅学習期間の過ごし方を再考してみましょう。

①起床時刻 ②帰宅時刻 ③学習の開始時刻 ④転換の時刻 ⑤就寝時刻

生活には、個人差はあれども、一定のパターンとリズムがあります。それは「習慣」として既に定着していることでしょう。一番楽なのは同じことの繰り返しを続けることです（今では死語ですが、「V.S.O.P」＝Very Special One Patternなんて言っていました）。

大事なのは、③学習の開始時刻 と ④転換の時刻 です。③は「やる気」次第で早くも遅くもできますが、早く取りかかることが当然です。学習が単調になってくると④が必要ですが、ここでは「気分」「科目」「思考」などの言葉にくっつく事柄を指しています。但し携帯電話&スマホは厳禁事項です。③と④を終えて、⑤就寝時刻を迎えられれば、一日は終了です。

さあ、「気（＝意識）」を引き締め、「集中力」を高めて、自宅学習に取り組みましょう！



## Que.昨日は何の日？—Ans.国公立大学の前期日程試験日

昨日、2月25日（日）は国公立大学の前期日程の筆記試験日でした（※大学によっては26日（月）に実技試験を実施するところもあります）。

今年度は29期生の145人が出願し、北は北海道の函館市から南は沖縄県まで、まさしく全国区で受験にチャレンジしました。

前期日程試験を終えて今週3月1日（木）に卒業式を控えるなか、3月8日（月）の中期日程および3月12日（月）の後期日程の受験を出願した人は、休む間もなく次なる受験に向けて取り組んでいます。

**なぜ？まだ受験勉強を？**—例年、3月6日7日を中心に前期日程試験の合否通知が行われるので、**前期試験の合否を待ちながら、次の受験に備えているのです。**

卒業しても国公立大学を目指す先輩たちが学校に来る姿を頻繁に目にするのは、まだ「受験」が終わっていないからです。**合格通知を手にするまで「受験」は完了しない、**ということなのです！！

センター試験に向けての提言→1・2年生の教科書から78%出題

愚かな者は”難問“に走り、賢い者は“基礎”に走る！

⇒進路実現に向けてのポイントは3年生になってから頑張るのではなく、

1・2年時の毎日の授業を大切にしていけるかです。